

## 土着天敵保護を目的に下草の高刈りを実施する りんご園地に生息するカブリダニ類

### 【1 成果の概要】

(種名の「カブリダニ」は省略しています)

- 下草の高刈り(刈り高8cm以上)を実施するりんご園地11カ所で平成30年から令和元年にカブリダニ類の調査を行いました(図1)。その全ての園地で樹上、下草ともにハダニ類の天敵であるカブリダニ類が生息しており、有効活用が期待できます(表1)。
- マクワ、ケナガは全ての園地の下草に生息し、樹上では、フツウ、ケナガが優占して生息しています(表1)。
- 下草の高刈りを実施する園地では、シロツメクサやオオバコが多く観察されることから(表1)、カブリダニ類の生息場所や餌(花粉)の供給に寄与すると考えられます。

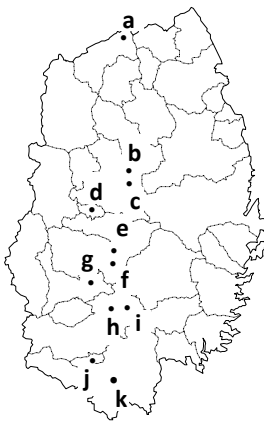


図1 調査地点

表1 各調査地点で採取したカブリダニ類と地点概要

エリア	地点 符号	確認したカブリダニ類		高刈 実施年数	主な草種	除草剤 使用状況
		樹上	下草			
県北部	a	フ、ケ、ミ	ケ、マ、フ	約3年	シロツメクサ	樹冠下
	b	フ、ケ	マ、フ、ケ、ミ	約11年	イネ科草本、オオバコ、シロツメクサ	樹冠下
県中部	c	ケ、フ、ミ	ケ、マ、ミ、フ	約8年	シロツメクサ	なし
	d	ケ、フ、ミ	マ、ケ、ミ	約5年	シロツメクサ	なし
	e	フ、ケ	マ、フ、ケ	約8年	シロツメクサ、オオバコ	なし
	f	ケ	ケ、マ、ミ、フ	約4年	シロツメクサ、オオバコ	樹冠下
	g	フ、ケ、ミ	マ、ミ、ケ、フ	2年	シロツメクサ、オオバコ	なし
県南部	h	フ、ケ、ミ	マ、ミ、ケ、ミ、フ	約4年	シロツメクサ、オオバコ	樹冠下
	i	フ、ミ	マ、ケ、フ、ミ	約6年	シロツメクサ、オオバコ	樹冠下
	j	ミ	マ、ミ、ケ、ミ	約6年	オオバコ、イネ科草本	樹冠下
	k	フ	マ、ケ、ミ、フ	約7年	シロツメクサ	樹冠下

#### 表1 摘要

- カブリダニ類の示した記号は以下のとおり、  
フ：フツウ、ケ：ケナガ、ミ：ミヤコ、ミ：ミチノク、マ：マクワ
- カブリダニ類の記号は、採取量の多い順に左から並べている。

### 【2 留意事項】

今回の調査で確認されたカブリダニ類の特徴は、下記の表のとおりです。

カブリダニ種名	食性			生育場所		主な 越冬場所
	ナミハダニ	リンゴハダニ	花粉	樹上	下草	
フツウカブリダニ	△	◎	○	○	△	樹上
ケナガカブリダニ	◎	×	△	○	○	下草
ミヤコカブリダニ	◎	○	○	○	○	下草
ミチノクカブリダニ	○	×	○	△	○	下草
マクワカブリダニ	○	×	○	×	○	下草

※ 食性：◎とても好む、○好む、△若干食べる、×ほぼ食べない

生育場所：○よく観察される、△ときどき観察される、×今回調査では観察されなかった

樹上で発生するフツウ、下草で発生するマクワ、ミチノク、ケナガとが連携してハダニ類の発生を抑えると考えられます